

**大阪市交通バリアフリー基本構想の重点整備地区における
特定事業等の実施状況に係る評価（案）**

本市では、平成12年に施行された交通バリアフリー法に基づき、平成15年4月から平成18年4月にかけて、市内の主要な駅を中心に25地区において「大阪市交通バリアフリー基本構想」（以下「基本構想」という。）を策定し、駅舎や駅周辺の主要な施設に至る道路等の重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進してきた。

これまで、基本構想により各事業者に対してバリアフリー化整備が義務付けられた特定事業（公共交通（駅舎、鉄道車両）、道路、交通安全（交差点））について、進捗状況を毎年把握し、公表してきたところであるが、このたび、特定事業を中心に基本構想に掲げられたバリアフリー化整備の実施等について、調査、分析及び評価を行った。

なお、段階評価は進捗率に応じ、以下の5段階とした。

段階評価	進捗率
A：整備済み	100%
B：概ね整備済み	90%以上 100%未満
C：整備が比較的進んでいる	70%以上 90%未満
D：整備が比較的進んでいない	50%以上 70%未満
E：整備が進んでいない	50%未満

（注意）本評価は、基本構想策定時の整備基準に基づく事業の実施状況を示しています。

○ 特定事業

1 駅舎

（1）整備内容及び進捗状況 [対象：65駅^{*1}]

[上段：整備駅数 中段：整備駅の割合 下段：評価]

	整備項目	整備内容	H18.4 時点	H23.3 時点	R3.3 時点
1	視覚障がい者 誘導用ブロック	車両の乗降口から公共通路までの移動動線上に敷設	38 駅 59% D	62 駅 95% B	64 駅 99% B
2	音案内	視覚障がい者誘導用ブロックの敷設位置に合わせ、音案内の提供を検討 ^{*2}	2 駅 3% —	6 駅 9% —	21 駅 32% —

	整備項目	整備内容	H18.4 時点	H23.3 時点	R3.3 時点
3	案内・誘導	駅舎内での一貫した連続性のある案内・誘導及び乗り換えや周辺施設等への案内に努める	13 駅 20% E	25 駅 39% E	65 駅 100% A
		異常時に改札付近等で掲示を行う	64 駅 99% B	65 駅 100% A	65 駅 100% A
4	券売機	車いす使用者に配慮した蹴込みの構造等の検討。それ以外の細部の仕様は更新時期等に合わせ整備に努める※ ²	5 駅 8% —	25 駅 39% —	31 駅 48% —
5	改札口	拡幅改札口の設置	65 駅 100% A	65 駅 100% A	65 駅 100% A
6	エレベーター	ホームから公共用通路まで1以上の経路の確保	58 駅 89% C	64 駅 99% B	65 駅 100% A
		乗り換え経路の確保 [対象：60 駅]	55 駅 92% B	59 駅 98% B	59 駅 98% B
7	階段	階段の手すりに、行先を点字で表示	64 駅 99% B	65 駅 100% A	65 駅 100% A
		踏面端部が容易に識別できるように配慮する	28 駅 43% E	46 駅 71% D	62 駅 95% B
8	ホームにおける列車の案内	列車の行先・接近・出発に関する情報を文字及び音案内で提供	54 駅 83% C	63 駅 97% B	64 駅 99% B
9	車両とホームとの隙間・段差	ホーム構造や車両構造について検討を行う※ ²	0 駅 0% —	2 駅 3% —	10 駅 15% —
		渡り板を配備	63 駅 96% B	65 駅 100% A	65 駅 100% A

	整備項目	整備内容	H18.4 時点	H23.3 時点	R3.3 時点
10	ホームにおける 安全対策	ホーム縁端付近に連続して警告ブロックを敷設	65 駅 100% A	65 駅 100% A	65 駅 100% A
		線路側とホーム内側の区別が出来る工夫をする	21 駅 32% E	46 駅 71% C	65 駅 100% A
		線路側外のプラットホーム両端に警告ブロックを敷設	48 駅 79% C	65 駅 100% A	65 駅 100% A
11	トイレ	車いす対応トイレの設置	59 駅 91% B	61 駅 94% B	65 駅 100% A
		今後設置するトイレの多機能化	30 駅 46% E	42 駅 65% D	65 駅 100% A

※1 特定事業計画の進捗状況の報告駅別（大阪市高速電気軌道(株)について路線別）で集計。一般的な駅数では 56 駅。なお、各駅の整備状況（令和 3 年 3 月末時点）は別添 1 のとおり。

※2 整備内容が「検討」となっているため、整備駅数、整備駅の割合は参考値。

（2）評価

整備内容として 11 の整備項目について 18 の事業を定めており、対象となる 65 駅において整備済み（評価 A）となっているものは、目標年である平成 23（2011）年 3 月末時点で 6 事業だったものが、令和 3（2021）年 3 月末時点では 11 事業となった。

その結果、全駅において、エレベーター等の設置により段差を解消し、拡幅改札口が設置された経路（バリアフリールート）が少なくとも 1 経路は確保されるとともに、20 地区（60 駅）にある鉄軌道駅間の乗り換え経路についても、新今宮駅（JR 西日本、南海電鉄）では迂回する経路となっているものの、バリアフリールートが 1 経路以上確保されている。また、階段手すりの行先の点字表示やホームにおける渡り板の配備、ホーム端部における連続した警告ブロックの敷設、車いす対応トイレ（バリアフリートイレ）についても、全駅において整備済み（評価 A）となっている。

このように、基本構想を作成した時点では検討事項となっていた事業を含め、一部の事業について整備が完了していない駅舎があるものの、基本構想を作成した当時（平成 18（2006）年 4 月時点）に比べると、大幅にバリアフリー化されており、高齢者、障がい者等の鉄軌道による移動にあたり必要とされる整備が一定の水準まで進んでいる状況にあることから、高齢者、障がい者等の移動等に係る身体の負担の軽減が図られている。

概ね整備済み及び整備が進んでいない事業の主な状況は次のとおりである。

[一部の駅舎において整備が完了していないもの]

「視覚障がい者誘導用ブロックの敷設」

全駅において公共通路からホーム（車両の乗降口）までの経路のうち少なくとも1経路は敷設されているものの、改札口が複数に分かれている大阪梅田駅（阪急電鉄）において、一部の改札口からの経路が未整備となっている。

「階段の踏面端部の容易な識別」

難波駅（南海電鉄）、京橋駅（JR 西日本）及び新今宮駅（南海電鉄）の3駅において未整備となっている。

[基本構想作成時に検討事項となっていたもの]

「音案内」

駅舎の大規模な改良時などに整備が行われている。

「券売機の蹴込み構造」

券売機の更新時や駅舎の大規模な改良時などに整備が行われているものの、構造上、整備が難しい駅舎もある。

「車両とホームの隙間・段差」

可動式ホーム柵の整備時などに整備が行われているものの、ホームの嵩上げなど大規模な改良工事などが必要となる、複数の形式の車両が走行することや曲線ホームであることなどから、車両の乗降高さや車両とホームの隙間が一定ではないため新たな技術開発が必要となるなど引き続き検討が必要である。

(3) 今後の課題

一部の改札口からの経路について視覚障がい者誘導用ブロックの敷設が未整備となっている駅舎や、階段の踏面端部の容易な識別が未整備となっている駅舎については、平成22年度までに完了する計画であったことから、各鉄軌道事業者において、改めて事業を行うための計画を作成し、整備を図る必要がある。

また、基本構想を作成した当時では検討事項となっていた3事業（音案内、券売機の蹴込み構造、車両とホームの隙間・段差）については、施設の大規模な改良を行う時期や今後の技術開発の動向等を勘案しながら、長期的な視点で引き続き整備を促進していく必要がある。

加えて、高齢者、障がい者等の移動にあたり、駅舎は重要な施設となることから、令和2（2020）年12月の国の移動等円滑化の促進に関する基本方針の改正において、大規模な鉄軌道駅における当該駅の状態等を踏まえた可能な限りのバリアフリールートの複数化や鉄軌道駅の構造及び利用実態、地域の実情等を勘案し、優先度が高いプラットホームでの可動式ホーム柵等の整備の加速化など、新たな目標が定められたことなどを踏まえ、各駅舎の状態等も勘案しつつ、更なるバリアフリー化に向け、新たな整備内容

について検討を行っていく必要がある。

2 鉄道車両

(1) 整備内容

	整備項目	整備内容
1	車いすスペースの確保	新造車両は、1列車に1箇所以上設置。既存車両は、可能な限り設置に努める。
2	行先等の案内表示装置	新造車両は、車外から行先、種別が、車内から行先、種別、次停車駅名がわかる表示装置を設置。
3	車両間の転落防止装置	新造車両は、設置。既存車両は、可能な限り設置に努める。

(2) 進捗状況

令和3（2021）年3月末時点では、各鉄軌道事業者^{※1}における鉄道車両の整備状況は以下のとおりとなっている。

なお、編成数・車両数については、大阪市内を運行している車両のみを集計することが難しいため、原則として、事業に供している鉄道車両を対象に集計している。

	整備項目	7社合計 ^{※2}		
		整備数	整備率	評価
1	車いすスペースの確保	1617 編成	82%	C
2	行先等の案内表示装置	7402 両	78%	C
3	車両間の転落防止装置	9514 両	100%	A

※1 JR東海についても、特定事業の対象となっているが、対象となる鉄道車両が新幹線であり、全て整備済であることから、省略している。

※2 大阪市内を運行している車両のみで算出している。

(3) 評価

特定事業として定められている鉄道車両の新造時における整備については、全ての整備項目について、各鉄軌道事業者において行われている。また、既存の鉄道車両についても、各鉄軌道事業者において大規模改修の時期などを捉えて整備が行われている。

車両間の転落防止装置については、ホームからの転落事故を防止するための設備であることから、各鉄軌道事業者において重点的に整備され、大阪市内を運行している全区間における全車両について、各鉄軌道事業者とも整備済み（評価A）となっている。

車いすスペースの確保及び行先等の案内表示装置は整備済みとはなっていないが、整備が比較的進んでいる（評価C）。

このように、高齢者、障がい者等が鉄軌道を利用するにあたって必要となる整備が進捗しており、鉄軌道による移動における一定の安全性及び利便性が確保されてきている。ただし、各鉄軌道事業者においては、財務状況や事業に供している車両数、運行する鉄道車両や路線の状況などが大きく異なることから、整備項目の進捗状況に差が生じている状況にある。

（4）今後の課題

車いすスペースの確保、行先等の案内表示装置については、新たな鉄道車両の導入や鉄道車両の大規模な改修時期を捉え、引き続き、整備を促進していく必要がある。

鉄軌道は、高齢者、障がい者等にとって、主要な移動手段となることから、駅舎の更なるバリアフリー化とともに、鉄道車両についても、国の公共交通移動等円滑化基準などを踏まえつつ、新たな整備内容について検討を行っていく必要がある。

3 道路

（1）整備内容

歩道の段差解消・勾配修正・視覚障がい者誘導用ブロックの敷設など

（2）進捗状況^{※1}

[上段：整備延長^{※2} 中段：整備率 下段：評価]

	地区名	主要な経路の延長	H18.4 時点	H23.3 時点	R3.3 時点
1	梅田	10.79 km	5.39 km 50% E	8.48 km 79% C	9.17 km 85% C
2	難波	14.91 km	3.00 km 20% E	11.01 km 74% C	14.31 km 96% B
3	天王寺・阿倍野	3.32 km	1.51 km 45% E	2.20 km 66% D	3.32 km 100% A
4	京橋	4.14 km	0.52 km 13% E	1.93 km 47% E	3.32 km 80% C

	地区名	主要な経路 の延長	H18.4 時点	H23.3 時点	R3.3 時点
5	鶴橋	3.99 km	1.06 km 27% E	1.67 km 42% E	2.09 km 52% D
6	南森町・大阪天満宮 ^{※3}	13.14 km	0.80 km 6% E	8.31 km 63% D	12.20 km 93% B
7	天満橋 ^{※3}				
8	北浜 ^{※3}				
9	淀屋橋 ^{※3}				
10	新大阪	4.39 km	0.66 km 15% E	3.47 km 79% C	3.71 km 85% C
11	新今宮	5.70 km	0.48 km 8% E	5.17 km 91% B	5.29 km 93% B
12	日本橋 ^{※3}	4.31 km	1.72 km 40% E	3.37 km 78% C	4.26 km 99% B
13	上本町・谷町九丁目 ^{※3}				
14	弁天町	3.42 km	0.75 km 22% E	3.18 km 93% B	3.33 km 97% B
15	海老江・野田阪神	3.72 km	0.88 km 24% E	3.42 km 92% B	3.61 km 97% B
16	西九条	1.03 km	0.23 km 22% E	0.23 km 22% E	0.75 km 73% C
17	関目	2.76 km	0.17 km 6% E	1.97 km 71% C	2.16 km 78% C
18	放出	2.18 km	0.04 km 2% E	0.58 km 27% E	0.80 km 37% E
19	喜連瓜破	1.89 km	0.57 km 30% E	0.85 km 45% E	1.58 km 84% C

	地区名	主要な経路 の延長	H18.4 時点	H23.3 時点	R3.3 時点
20	御幣島	2.81 km	0.65 km 23% E	2.75 km 98% B	2.81 km 100% A
21	我孫子町	2.47 km	0.78 km 32% E	2.38 km 96% B	2.38 km 96% B
22	大正	1.87 km	0.50 km 27% E	1.87 km 100% A	1.87 km 100% A
23	住之江公園	2.29 km	0.95 km 41% E	2.05 km 90% B	2.29 km 100% A
24	コスモスクエア	4.22 km	3.13 km 74% C	3.80 km 90% B	3.92 km 93% B
25	駒川中野	2.07 km	0.59 km 29% E	0.91 km 44% E	1.66 km 80% C
	25 地区合計	95.42 km	24.38 km 26% E	69.60 km 73% C	84.83 km 89% C

※1 各地区における主要な経路の整備状況（令和3年3月末時点）は別添2のとおり。

※2 視覚障がい者誘導用ブロックの設置延長

※3 主要な経路が複数の地区にわたっているため、合計値を記入。

(3) 評価

25 地区合計の整備評価は、目標年である平成 23（2011）年 3 月末時点、令和 3（2021）年 3 月末時点において、いずれも評価 C となっているが、整備延長は約 15km 増加している。

地区ごとでは、令和 3（2021）年 3 月末時点において、天王寺・阿倍野、御幣島、大正、住之江公園の 4 地区では、整備済み（評価 A）、難波地区や日本橋地区、上本町・谷町九丁目地区など 12 地区では、概ね整備済み（評価 B）となっている。また、多くの地区において整備延長が向上している。

このように、多くの地区において道路のバリアフリー化整備が着実に進んでおり、高齢者や障がい者等の歩行環境の改善が図られている。一方で、鶴橋地区及び放出地区の整備評価は整備が比較的進んでいない（評価 D）又は整備が進んでおらず（評価 E）、また、全体では整備評価が高い地区であっても主要な経路ごとで見た場合、整備評

価が低い経路も存在する。

現在、主要な経路のうち未整備となっている区間は、歩道がない又は歩道の有効幅員が不足しているため視覚障がい者誘導用ブロックの敷設を行うことができないものや、将来の歩道拡幅計画に合わせて敷設を予定していたものなどとなっている。また、主要な経路は、重点整備地区の中心となる駅から主要な施設に至るいくつかの道路で構成されており、鶴橋地区及び放出地区にあるように、経路の途中に歩道のない道路を含むものがある。そのような経路については、歩道のある部分において視覚障がい者誘導用ブロックの敷設を行ったとしても適切な誘導を行うことができないため、バリアフリー化整備を行うことができないといった状況にある。

(4) 今後の課題

全ての地区の主要な経路についてバリアフリー化が図られるよう、引き続き整備を行っていく必要がある。現在、主要な経路のうち歩道がないなどにより視覚障がい者誘導用ブロックが敷設できない区間が全体の約4%あり、そのような区間においては、新たに歩道の整備が必要となる。歩道の整備にあたっては、地域の合意形成を図ったうえで検討を進める必要があることから、長期的な視点で引き続き整備方法等を検討していく必要がある。歩道がある区間については、将来の歩道拡幅の実施時期も踏まえながら可能な限り整備を行う必要がある。

また、重点整備地区内において高齢者、障がい者等が日常生活又は社会生活において利用する施設（生活関連施設）の廃止や移転、新たな建築など地区の状況が変化していることを踏まえ、バリアフリー化を図る必要がある経路（生活関連経路）の削除や変更、追加について検討する必要がある。

4 交差点

(1) 実施する道路の区間

基本構想における「主要な経路」（地下街及び上空デッキ等の地上道路以外の経路は除く。）

(2) 整備内容

[全地区共通]

- ・ 主要な経路上にある必要な交差点における、既設信号機への音響信号機（視覚障がい者用付加装置、音響式歩行者誘導付加装置等）の整備
- ・ 高齢者や身体障がい者等が通常の横断に要する歩行者用信号秒数の確保
- ・ 反射材等を用いた高輝度道路標識、道路標示の設置
- ・ 移動円滑化を阻害する違法駐車等を防止するための事業を重点的に推進

[大正地区、住之江公園地区、コスモスクエア地区、駒川中野地区を除く 21 地区]

- ・ 必要な既設信号機への歩行者用信号灯器の設置・増設

[駒川中野地区]

- ・ 東住吉区役所前交差点への触知式信号の整備

[大正地区]

- ・ 府道難波境川線におけるオーバーハング標識の新設

(3) 進捗状況

継続的に実施する違法駐車等を防止するための事業を除き、平成 23 (2011) 年 3 月末までに全て整備済み (評価 A) となっている。

なお、違法駐車行為の防止に係る事業については、警察官の取締り活動に加え、駐車監視員による放置車両の確認事務を行うなど、継続的に行っている。

(4) 評価

計画どおり整備済み (評価 A) となったことにより、交差点のバリアフリー化が図られ、基本構想を作成した当時 (平成 18 (2006) 年 4 月時点) に比べ、高齢者、障がい者等が道路を横断するにあたっての安全性が確保されている。

(5) 今後の課題

バリアフリー化を図る必要がある経路 (生活関連経路) が変更、追加された場合には、当該経路における交差点の状況を踏まえ、新たな既設信号機への音響信号機 (視覚障がい者用付加装置、音響式歩行者誘導付加装置等) の整備などについて検討を行う必要がある。

○ その他の事業等の進捗状況

基本構想では、各地区の特性などを踏まえ、特定事業以外についても、その他の事業としてバリアフリー化に係る整備内容が定められており、主なものとして、ノンステップバスの導入、鉄軌道駅間の乗り換え経路等の視覚障がい者誘導用ブロックの敷設などがある。

それらの整備状況は、以下のとおりとなっており、概ねバリアフリー化が図られてきている。

1 ノンステップバスの導入

大阪市内における乗合バスの運行は、主に大阪シティバス(株)が担っており、令和 3 (2021) 年 12 月末時点で、同社の乗合バス車両 (基準適用除外認定車両等を除く) (547 両) のうち 1 両を除く全てがノンステップバスとなっている。大阪シティバス(株)以外の 7 事業者では、所有する乗合バス車両 (基準適用除外認定車両を除く) のうちノンステップバスの占める割合に幅があるものの、7 事業者全体では約 63% となっている。

大阪市内で乗合バスを運行する事業者全体でみると、乗合バス車両 (基準適用除外認定車両等を除く) のうちノンステップバスの占める割合は、7 割を超える状況となっている。

なお、ノンステップバス以外のバスについても、基準適用除外認定車両等を除き全て国が定める公共交通移動等円滑化基準に適合したワンステップバスとなっている。

2 鉄軌道駅間の乗り換え経路等の視覚障がい者誘導用ブロックの敷設

重点整備地区内に複数の鉄軌道駅がある 20 地区における主要な乗り換え経路及び梅田地区、難波地区、天王寺・阿倍野地区における地下街には、全て視覚障がい者誘導用ブロックが敷設されている。

3 官公庁施設などの案内・誘導

鉄軌道駅出入口から案内対象施設までの経路を適切に誘導するため、当該施設が設定している誘導経路を基本として、他の官公庁及び各鉄軌道事業者が設置している地図等との連携に配慮し、鉄軌道駅地上出入口に歩行者案内標識及び分岐点に案内標識が整備されている。

4 その他の施設のバリアフリー化

(1) 立体横断施設等

各地区の基本構想においてバリアフリー化を図るべき立体横断施設として定められたものは以下のとおりであり、一部を除き整備が図られている。

- ・ 近鉄前交差点（天王寺・阿倍野地区）
- ・ 花園北交差点（新今宮地区）
- ・ 弁天町駅前交差点（弁天町地区）
- ・ 住之江公園前交差点（住之江公園地区）

また、コスモスクエア地区では、駅南側の道路（コスモ国際フェリー線）を横断する連絡デッキの整備が定められており、計画どおり整備されている。

(2) バスターミナル等

海老江・野田阪神地区及び住之江地区におけるバスターミナル等については、視覚障がい者用誘導ブロック及び案内・誘導サインの整備が定められており、計画どおり整備されている。

(3) 都市公園

各重点整備地区における主要な公園について、出入口のバリアフリー化（1箇所以上の出入口における有効幅員の確保等）が図られている。

(4) 地上と地下の連続性の確保（梅田地区、難波地区、天王寺・阿倍野地区）

地上と地下の移動において可能な限り遠回りとならないよう地下街に接続する民間建築物においてエレベーターの設置が行われている。

○ ソフト面の取組

高齢者、障がい者等の移動等の円滑化を図るためには、ハード面のバリアフリー化整備のみならず、市民や関係者の理解や協力、その理解等を得るため啓発活動などソフト面の取組が重要である。大阪市、鉄軌道事業者、道路管理者、交通管理者では、以下の取組が継続的に実施されている。

今後も、市民や関係者が、高齢者、障がい者等の特性を理解し、高齢者、障がい者等の施設の利用等を妨げないことのみならず、移動等の円滑化を積極的に支援するよう、ソフト面の取組を充実していく必要がある。

1 鉄軌道事業者による取組

- ・ 充実した案内誘導サービスの提供
- ・ ホームページにおけるバリアフリー施設の状況などの情報提供
- ・ 職員に対する職員研修の実施、対応マニュアルの整備 など

2 道路管理者、交通管理者による取組

- ・ 放置自転車対策
- ・ 違反広告物対策
- ・ 「迷惑駐車防止に関する条例」に基づく駐車マナーの向上 など

3 その他啓発などの取組

- ・ エレベーター、トイレ等バリアフリー施設の状況のわかりやすい情報提供



[バリアフリーマップ]



[ハートフルWeb]

- ・ 「あいサポート運動」※¹の実施
- ・ 市民を対象とした各種学習会の開催
- ・ 学校教育における「総合的な学習の時間」等での取組
- ・ 中学生・高校生を対象とした「わがまちのやさしさ発見」レポート※²の募集 など

※¹ 多様な障がいの特性や障がいのある人への必要な配慮などを理解して、困っている様子を見

かけたら、一声かけるなどちょっとした手助けや配慮をすることで、誰もが住みやすい地域社会（共生社会）を目指す運動

※2 まちの建物や公共交通機関などを自ら調査・発見し、そのやさしさをまとめたレポート

○ 今後の検討課題

駅舎に関して整備内容として掲げられた事項（検討事項となっているものを除く。）について、全25地区で概ね整備済み（評価A・B）であるとともに、鉄道車両に関する整備内容についても、新造時や大規模な改修の時期などを捉えて整備が行われている。加えて、道路に関して、多くの地区で整備済み（評価A）、概ね整備済み（評価B）、整備が比較的進んでいる（評価C）とともに、交差点に係る整備内容についても全ての整備が行われるなど、着実に重点整備地区のバリアフリー化が進展し、高齢者や障がい者等の移動等の円滑化が一定図られている。今後も、未整備となっている事業について、各事業者において整備が行われるよう取り組み、引き続き重点整備地区のバリアフリー化を図っていく必要がある。

また、基本構想の作成時から土地利用等に変化が見られる重点整備地区もあることから、その状況を踏まえた見直しの検討を行っていく必要がある。さらに、バリアフリー施策を総合的に展開するため、平成18年に「交通バリアフリー法」から「ハートビル法」と統合された「バリアフリー法」となるとともに、その後も、高齢者、障がい者等の移動等に対する社会的要求水準の高まりや、高齢化の更なる進展など社会的状況の変化に応じて、適宜、法令等の改正がなされている。それらの状況を踏まえ、現在の基本構想では定められていない新たな整備内容について、ハード面の取組のみならず、ソフト面の取組も含め、検討を行っていく必要がある。

なお、新たな整備内容の検討にあたっては、地区により駅舎や周辺施設の状況等がそれぞれ異なり、また、地域課題が残る地区もあることから、地区ごとでバリアフリー化の状況等について評価を行いながら進めていく必要がある。加えて、高齢者、障がい者等の当事者をはじめとする関係者の意見を聴取するとともに、地区の状況等も勘案しつつ、検討を行っていく必要がある。

(別添2)

○ 各地区における主要な経路の整備状況（令和3（2021）年3月末時点）

地区		路線名	延長 (km)	整備延長 (km)	整備率		路線名	延長 (km)	整備延長 (km)	整備率		路線名	延長 (km)	整備延長 (km)	整備率
梅田	1	国道1号	0.54	0.54	100%	9	梅田線	0.50	0.50	100%	17	梅田駅前線	0.30	0.30	100%
	2	国道25号	0.40	0.40	100%	10	大阪駅北通線	0.30	0.30	100%	18	曾根崎中2丁目東西線	0.10	0.10	100%
	3	国道2号	0.95	0.95	100%	11	大阪環状線	0.60	0.09	15%	19	梅田駅前東筋線	0.10	0.10	100%
	4	国道176号	1.20	0.95	79%	12	梅田北野線	0.80	0.57	71%	20	元槌之筋線	0.20	0.20	100%
	5	国道423号	1.50	1.50	100%	13	豊崎鷺洲線	0.50	0.37	74%	21	工業学校表通線	0.40	0.11	28%
	6	中津太子橋線	0.10	0.10	100%	14	大淀区第212号線	0.10	0.10	100%	22	北区第9705号線	0.10	0.10	100%
	7	扇町公園南通線	0.50	0.50	100%	15	北消防署横通線	0.40	0.40	100%					
	8	南北線	0.90	0.69	77%	16	東梅田線	0.30	0.30	100%					
難波	1	恵美須南森町線	1.30	1.30	100%	8	浪速区第9034号線	0.20	0.20	100%	15	玉造西九条線	1.30	1.30	100%
	2	南北線	1.90	1.74	92%	9	浪速鶴町線	0.70	0.70	100%	16	浪速区第8947号線	0.30	0.30	100%
	3	西横堀東岸線	0.40	0.40	100%	10	浪速区第9202号線	0.10	0.10	100%	17	浪速区第8948号線	0.20	0.20	100%
	4	浪速区第9033号線	1.20	0.81	68%	11	浪速区第2000-01号線	0.20	0.20	100%	18	浪速区第8952号線	0.10	0.10	100%
	5	浪速区第9205号線	0.20	0.20	100%	12	難波境川線	0.90	0.90	100%	19	大阪枚岡奈良線	0.60	0.60	100%
	6	浪速区第9210号線	0.50	0.50	100%	13	浪速区第2813号線	1.50	1.50	100%	20-1	国道25号	0.80	0.80	100%
	7	浪速区第8910号線	0.50	0.50	100%	14	大阪伊丹線	1.40	1.35	96%	20-2	国道25号	0.61	0.61	100%
天王寺・阿倍野	1	大阪和泉南線	1.20	1.20	100%	5	阿倍野区第924-1号線	0.10	0.10	100%	9	金塚東西線	0.19	0.19	100%
	2	大阪高石線	0.40	0.40	100%	6	国道25号	0.21	0.21	100%	10	阿倍野木津川線	0.11	0.11	100%
	3	今宮平野線	0.35	0.35	100%	7	阿倍野区第893号線	0.08	0.08	100%					
	4	恵美須町城東線	0.30	0.30	100%	8	金塚南北線	0.38	0.38	100%					

地区		路線名	延長 (km)	整備延長 (km)	整備率		路線名	延長 (km)	整備延長 (km)	整備率		路線名	延長 (km)	整備延長 (km)	整備率
京橋	1	国道1号	0.98	0.98	100%	6	赤川天王寺線	0.48	0.48	100%	11	東野田方面南北29号線	0.06	0.06	100%
	2	京橋大阪城線	0.40	0.40	100%	7	桜宮小学校表通線	0.16	0.00	0%	12	東野田方面東西14号線	0.17	0.17	100%
	3	片町徳庵線	0.25	0.25	100%	8	片町茨田線	0.08	0.00	0%	13	大阪城京橋ﾌﾞﾙﾏｰﾄﾞ	0.30	0.30	100%
	4	上新庄生野線	0.90	0.32	36%	9	東野田方面南北5号線	0.11	0.11	100%					
	5	片町野江森小路線	0.20	0.20	100%	10	東野田方面東西28号線	0.05	0.05	100%					
鶴橋	1	大阪枚岡奈良線(千日前通)	0.99	0.99	100%	4	赤十字社病院南線	0.47	0.35	75%	7	生野区第4号線	0.30	0.07	23%
	2	恵美須町城東線(玉造筋)	0.78	0.00	0%	5	上新庄生野線	0.46	0.00	0%	8	東成区第8151号線	0.55	0.55	100%
	3	玉造西九条線	0.21	0.00	0%	6	生野区第5号線	0.10	0.00	0%	9	東成区第8121号線	0.13	0.13	100%
南森町・大阪天満宮、天満橋、北浜、淀屋橋	1	扇町公園南通線	0.43	0.43	100%	9	大阪和泉南線	1.21	1.09	90%	17	南北線	0.22	0.22	100%
	2	裁判所東筋線	0.69	0.69	100%	10	烏居筋線	0.27	0.27	100%	18	中之島川口線	0.44	0.44	100%
	3	大阪高槻京都線	0.53	0.53	100%	11	天神橋天王寺線	0.44	0.44	100%	19	中之島公園北側線	0.34	0.34	100%
	4	北区第8240号線	0.44	0.44	100%	12	石切大阪線	1.84	1.84	100%	20	中之島線	1.00	0.80	80%
	5	天満橋筋線	0.44	0.44	100%	13	高麗橋線	0.22	0.22	100%	21	土佐堀南岸線	0.39	0.39	100%
	6	国道1号	1.03	1.03	100%	14	馬場町線	0.25	0.07	28%	22	国道25号	0.80	0.80	100%
	7	恵美須南森町線	1.43	1.09	76%	15	赤川天王寺線	0.28	0.28	100%	23	三休橋千日前線	0.10	0.00	0%
	8	北区第8246号線	0.07	0.07	100%	16	大手橋線	0.28	0.28	100%					
新大阪	1	国道423号(新御堂筋)	0.71	0.71	100%	8	淀川区第1224号線	0.25	0.25	100%	15	東淀川区第1210号線	0.06	0.06	100%
	2	歌島豊里線	0.57	0.57	100%	9	淀川区第1258号線	0.15	0.15	100%	16	東淀川区第1238号線	0.20	0.20	100%
	3	西淡路南方線	0.29	0.29	100%	10	淀川区第1527号線	0.17	0.17	100%	17	東淀川区第1479号線	0.06	0.06	100%
	4	淀川区第1081号線	0.10	0.10	100%	11	東淀川区第999号線	0.10	0.10	100%	18	新大阪駅駅前広場	0.13	0.00	0%
	5	淀川区第1094号線	0.06	0.06	100%	12	東淀川区第1205号線	0.07	0.00	0%	19	新大阪駅北口広場	0.11	0.11	100%
	6	淀川区第1171号線	0.20	0.00	0%	13	東淀川区第1208号線	0.10	0.00	0%	20	新大阪駅北口ﾃﾞｯｷ	0.13	0.00	0%
	7	淀川区第1189号線	0.25	0.25	100%	14	東淀川区第1209号線	0.68	0.63	93%					

地区		路線名	延長 (km)	整備延長 (km)	整備率		路線名	延長 (km)	整備延長 (km)	整備率		路線名	延長 (km)	整備延長 (km)	整備率
新今宮	1	国道 25 号	0.93	0.93	100%	4	今宮平野線	1.15	0.74	64%	7	西成区第 71 号線	0.46	0.46	100%
	2	恵美須町城東線	0.76	0.76	100%	5	国道 26 号	1.31	1.31	100%	8	住吉神社前通線	0.42	0.42	100%
	3	日本橋今宮方面南北 10 号線	0.45	0.45	100%	6	天王寺公園西線	0.22	0.22	100%					
梟 寺 音 音	1	大阪枚岡奈良線 (千日前通)	1.74	1.74	100%	4	高津宮跡天王寺線	0.22	0.22	100%	7	天王寺方面南北 73 号線	0.13	0.13	100%
	2	大阪和泉泉南線 (谷町筋)	1.16	1.16	100%	5	玉造西九条線	0.28	0.28	100%	8	上ノ宮学園南通線	0.04	0.00	0%
	3	赤川天王寺線 (上町筋)	0.48	0.47	98%	6	天王寺石ヶ辻町線	0.26	0.26	100%					
弁 天 町	1	国道 43 号	1.14	1.14	100%	4	港区第 66 号線	0.15	0.15	100%	7	港区第 135 号線	0.09	0.00	0%
	2	国道 172 号 (みなと通)	1.37	1.37	100%	5	港区第 3 号線	0.09	0.09	100%	8	大阪から弁天町駅から大阪へへの連絡が	0.12	0.12	100%
	3	築港深江線 (中央大通)	0.35	0.35	100%	6	港区第 11 号線	0.11	0.11	100%					
海 老 江 ・ 野 田 阪 神	1	国道 2 号	0.85	0.85	100%	4	豊崎鷺洲線	0.67	0.67	100%	7	福島区第 111 号線	0.11	0.00	0%
	2	福島桜島線 (北港通)	0.88	0.88	100%	5	大開佐藤町線	0.70	0.70	100%					
	3	大阪臨海線 (新なにわ筋)	0.46	0.46	100%	6	九条梅田線	0.05	0.05	100%					
西 九 条	1	玉造西九条線	0.21	0.15	71%	4	逆川橋筋第 1 号線(南側)	0.24	0.24	100%	7	西九条方面第 18 号線	0.11	0.11	100%
	2	福島桜島線	0.11	0.00	0%	5	逆川西岸線	0.11	0.00	0%					
	3	逆川橋筋第 1 号線(北側)	0.17	0.17	100%	6	西九条方面第 25 号線	0.08	0.08	100%					
関 目	1	国道 1 号	1.22	1.22	100%	4	東成区第 1570 号線	0.36	0.00	0%	7	旭区第 1536 号線	0.07	0.00	0%
	2	赤川森小路線	0.56	0.56	100%	5	旭区第 1929 号線	0.23	0.23	100%	8	東成区第 1593 号線	0.05	0.00	0%
	3	片町野江森小路線	0.15	0.15	100%	6	旭区第 1535 号線	0.12	0.00	0%					
放 出	1	鯉江榎本線	0.25	0.25	100%	5	鶴見区第 1144 号線	0.08	0.00	0%	9	城東区第 2466 号線	0.11	0.06	55%
	2	城東区第 2721 号線	0.39	0.00	0%	6	城東区第 1188 号線	0.44	0.00	0%	10	城東区第 696-1 号線	0.27	0.22	82%
	3	鶴見区第 1142 号線	0.17	0.00	0%	7	城東区第 1191 号線	0.04	0.00	0%					
	4	城東区第 1126 号線	0.16	0.00	0%	8	鶴見区第 2001-01 号線	0.27	0.27	100%					
喜 連 瓜 破	1	国道 309 号	0.40	0.40	100%	4	平野区第 1449 号線	0.11	0.11	100%	7	瓜破第 43 号線	0.05	0.00	0%
	2	国道 479 号	0.13	0.13	100%	5	平野区第 3018 号線	0.08	0.00	0%					
	3	住吉八尾線	0.92	0.92	100%	6	住吉区第 1553 号線	0.20	0.02	10%					

地区		路線名	延長 (km)	整備延長 (km)	整備率		路線名	延長 (km)	整備延長 (km)	整備率		路線名	延長 (km)	整備延長 (km)	整備率
御幣島	1	西淀川区第 246 号線	0.11	0.11	100%	4	西淀川区第 306 号線	0.31	0.31	100%	7	大阪池田線	0.89	0.89	100%
	2	西淀川区第 263 号線	0.29	0.29	100%	5	西淀川区第 350 号線	0.19	0.19	100%	8	国道 2 号	0.67	0.67	100%
	3	西淀川区第 266 号線	0.06	0.06	100%	6	歌島稗島線	0.29	0.29	100%					
我孫子町	1	住吉区第 1377 号線	0.80	0.80	100%	4	住吉区第 2190 号線	0.19	0.19	100%	7	大阪高石線	0.11	0.11	100%
	2	住吉区第 1388 号線	0.43	0.43	100%	5	住吉区第 2598 号線	0.22	0.22	100%					
	3	住吉区第 2205 号線	0.63	0.63	100%	6	住吉区第 2228 号線	0.09	0.00	0%					
大正	1	西区第 9703 号線	0.17	0.17	100%	3	難波境川線	0.78	0.78	100%					
	2	大阪八尾線	0.80	0.80	100%	4	国道 172 号	0.12	0.12	100%					
住之江公園	1	大阪臨海線（新なにわ筋）	0.26	0.26	100%	3	住吉区第 2466 号線	0.18	0.18	100%	5	住之江区第 8915 号線	0.24	0.24	100%
	2	浜口南港線（住之江通）	1.57	1.57	100%	4	住之江区第 2580 号線	0.04	0.04	100%					
コスモシティ	1	コスモ 1 号線	0.64	0.64	100%	4	コスモ中央線	0.49	0.19	39%	7	コスモ国際フェリー線	0.26	0.26	100%
	2	コスモ 2 号線	0.35	0.35	100%	5	コスモ南線（西）	0.29	0.29	100%	8	南港緑道	0.70	0.70	100%
	3	コスモ 3 号線	0.51	0.51	100%	6	はばたき通り線	0.48	0.48	100%	9	コスモスクエア海浜緑地内通路	0.50	0.50	100%
駒川中野	1	大阪環状線	0.37	0.37	100%	4	駒川地下横断歩道（東住吉区第 382 号線）	0.10	0.10	100%	7	住吉区第 383 号線	0.07	0.00	0%
	2	東住吉区第 1303 号線	0.03	0.00	0%	5	住吉区第 381 号線	0.12	0.00	0%	8	大阪狭山線	0.20	0.20	100%
	3	大阪港八尾線	1.12	0.99	88%	6	住吉区第 352 号線	0.06	0.00	0%					